

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		小中学校司書配置事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	曾我 陽子
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	5325
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番	11558	根拠法令	合志市学校司書設置要綱(平成23年4月1日施行予定)
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	市職員の適正配置のため、現在、平成22年度より試行的に西合志第一小学校の学校司書を市長部局へ戻し臨時職員を補充し始め、市内小中学校に学校司書として配置している市費正職員を段階的に、市長部局へ戻し、平成24年9月よりすべて非常勤職員を任用している。 子どもたちの豊かな感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしたり、情報活用能力や読解力を向上させるためには、読書から始まると考える。そのために、まずは子どもたちに本に親しませる機会を与える学校司書の役割は重大だと考える。令和2年4月より、一般職非常勤職員から会計年度任用職員へ移行した。令和5年度より、小中学校運営事業に統合。
【業務の流れ】	一般公募、採用面接選考、学校への配置、毎月の勤務報告確認
【主な予算費目】	報酬、期末手当、費用弁償
【意見や要望】	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	全小中学校12校への会計年度任用職員11名(楓の森小中学校は1名)を配置した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 今年度同様、全小中学校に配置する。令和5年度より、小中学校運営事業に統合。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 ア:学校司書配置人数 イ:	予算の主な増減の理由 令和5年度より、小中学校運営事業に統合による減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	小中学校在籍児童生徒	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア:小中学校在籍児童生徒数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	本に親しみ、読解力の向上と豊かな心を育む環境を整え、数多くの図書を読ませる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)スコア ア:標準学力検査における各学校の標準スコア イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
平成20年度までに実施した学力検査の結果を基準として、目標値では、平成20年度の実績で最も高かった数値を基準にするとともに、これまでの学力充実の研究指定校制度や学力向上委員会の取り組みの更なる充実を図ることにより、平成24年度を53.4、以降各年度0.2の漸増をめざし設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①	活動指標	人	10	11	11	11				
②	対象指標	人	7,139	7,173	7,200	7,316				
③	成果指標	スコア	52.5	52.6	53.7	51.3				
投資	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	17,688	18,884	20,330	19,741			
	入費	(A)事業費計	千円	17,688	18,884	20,330	19,741			
量	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0				
	人件費	正規職員従事人数	人	4	2	0	3			
	延べ業務時間	時間	430	22	0	22				
人件費	(B)人件費計	千円	1,695	86	0	83				
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,383	18,970	20,330	19,824				

事務事業名	小中学校司書配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 新型コロナウイルス感染症対策等により学習規律の低下や家庭学習に対する指導が十分でなかったため。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 司書資格を持っているので、学校の図書業務の運営に支障をきたすことはない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年度当初に研修を実施し、その後も年間を通して県や郡市の研修等を受けさせ、スキルアップを図っている。今後も研修を実施し、学校の児童生徒への読書意欲をわかせる、学力の向上を目指していく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和5年度より、小中学校運営事業に統合する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 学校運営に必要な費用であり削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で対応しており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の小中学校在籍の児童生徒のための学校図書運営を業務としているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 小中学校の図書業務の運営のためには司書の資格を持つ職員は不可欠であるため、現在のやり方が適正と考える。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

子どもたちの豊かな感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしたり、情報活用能力や読解力を向上させるためには、読書から始まると考える。そのために、まずは子どもたちに本に親しませる機会を与える学校司書の役割は重大であり、事業を継続する必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						